

1. 調査報告概要表

作成日 平成22年1月14日

【認知症対応型共同生活介護用】

【評価実施概要】

事業所番号	2774800383
法人名	株式会社 ラポール
事業所名	グループホーム和み庵
所在地	松原市北新町1-3-18 (電話) 072-338-7525

評価機関名	社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会
所在地	大阪市中央区中寺1丁目1番54号 大阪社会福祉指導センター内
訪問調査日	平成 21年 12月 18日

【情報提供票より】(平成 21年 10月 26日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 14年 4月 1日		
ユニット数	1ユニット	利用定員数計	9人
職員数	12人	常勤 2人, 非常勤 10人, 常勤換算 7人	

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り		
	2階建ての	1階 ~	2階部分

(3) 利用料金等 (介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	50,000円	その他の経費(月額)	15,000円	
敷金	有() 無()			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(100,000円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	300円	昼食	500円
	夕食	700円	おやつ	0円
	または1日当たり 円			

(4) 利用者の概要 (平成 21年 10月 26日現在)

利用者人数	9名	男性	0名	女性	9名
要介護1	1名	要介護2	2名		
要介護3	3名	要介護4	2名		
要介護5	1名	要支援2	0名		
年齢	平均 82.7歳	最低	57歳	最高	96歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	松原たかいくリニック
---------	------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

認知症高齢者グループホーム事業が始まった初期の約8年前に、駅前の便利な場所に単独で開設したグループホームです。松原市内にはグループホームが2ヶ所しかなく、そのうちの1つです。「1家庭的な環境の下、慌てず急がず利用者のテンポに合わせて穏やかな気持ちで過ごそう。2お互いの意見を認め合い、相手の存在を敬う。3和気あいあいと過ごせるよう自発的な活動を引き出そう。」「・利用者及び事業所全体が、地域に役立ち貢献できる活動を行います。・地域と共に歩み、地域活動へ積極的に参加し、人の輪、地域の輪を大切にします。」の運営理念のもと、利用者が安心して楽しく生活を続けられるよう家族、職員、地域の人たちと共に支えています。利用者は協力医療機関の医師と医療連携している訪問看護師による医療と看護を受けています。利用者は毎日の散歩で体力の維持ができ、活気があって家庭的な雰囲気の中でゆったりと笑顔いっぱい過ごしています。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連科目:外部4)
	前回の外部評価受審で示された事項について、職員の研修を年6回以上実施し、介護計画に利用者の思いや希望を反映させ、介護計画の見直しを6ヶ月毎に実施し、年2回の災害避難訓練を実施するようになっていました。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	今回の自己評価については管理者が作成し、職員は自己評価に参加できていません。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議は市担当職員、自治会長、家族の参加のもとで3ヶ月毎に開催しています。会議ではホームの運営状況やホーム内外での行事、利用者の健康状態等の報告をし、近隣小学校の3年生との体験学習交流の報告もしています。また今後の地域との交流の深め方についても話し合っています。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	家族の面会時には利用者の生活ぶりや連絡事項を伝えています。また、利用者の健康や安全に関わる事項については、その都度家族へ電話で報告しています。家族には毎月利用者の生活状況・身体状況・受診状況・行事等について各月の担当職員が文書を作成して送付しています。金銭管理については、定期的に家族の確認のサインを得ています。家族とは面会時にできるだけ会話をし、サービス担当者会議や行事には家族の参加を求め、家族が希望や願い、不満を表せるように対応しています。近々アンケート調査も予定しています。また意見箱の設置をしています。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	利用者は地域の祭りや小学校の運動会に参加し、毎朝ホームに近い鉄道駅周辺の清掃活動に参加し、毎日の周辺散歩で多くの地域の人と顔馴染みになり挨拶を交わしています。近隣の小学校3年生が毎年体験学習でホームを訪れ交流し、利用者はお礼の手紙を大事に飾っています。またボランティアとともに茶道やフラダンスを楽しみ、12月には衣装もつけてフラダンスの発表会を予定しています。

2. 調 査 報 告 書

(部分は重点項目です)

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	『「1 家庭的な環境の下、慌てず急がず利用者のテンポに合わせて穏やかな気持ちで過ごそう。2 お互いの意見を認め合い、相手の存在を敬う。3 和気あいあいと過ごせるよう自発的な活動を引き出そう。」「・利用者及び事業所全体が、地域に役立ち貢献できる活動を行います。・地域と共に歩み、地域活動へ積極的に参加し、人の輪、地域の輪を大切にします。」』の運営理念のもと、利用者が安心して楽しく生活を続けられるよう家族、職員、地域の人たちと共に支えています。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を明文化し掲示しています。定例のスタッフミーティングや毎日の業務を通じて方針を共有し、介護サービスに反映させるよう話し合っています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
3	5	<p>○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに務めている</p>	<p>利用者は地域の祭りや小学校の運動会に参加しています。また、毎朝ホームに近い鉄道駅周辺の清掃活動に参加し、毎日の周辺散歩で多くの地域の人と顔馴染みになり挨拶を交わっています。近隣小学校の3年生が毎年体験学習でホームを訪れ交流し、利用者はお礼の手紙を大事に飾っています。またボランティアとともに茶道やフラダンスを楽しみ、12月には衣装もつけてフラダンスの発表会を予定しています。</p>		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	<p>○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>前回の外部評価受審で示された事項について、職員の研修を年6回以上実施し、介護計画に利用者の思いや希望を反映させ、介護計画の見直しを6ヶ月毎に実施し、年2回の災害避難訓練を実施するようになるなど具体的な改善に取り組んでいます。しかしながら、今回の自己評価については管理者のみが作成し、職員は自己評価に参加できていません。</p>	○	<p>自己評価の実施にあたっては、全職員が評価の意義と狙いを理解し、具体的にサービスの改善に活用するため、管理者と職員が一体となって作成することが求められます。</p>

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は市担当職員、自治会長、家族の参加のもとで3ヶ月毎に開催しています。会議ではホームの運営状況やホーム内外での行事、利用者の健康状態等の報告をし、近隣小学校の3年生児童との交流についても報告しています。また今後の地域との交流の深め方についても話し合っています。	○	運営推進会議は年6回、もしくは概ね2ヶ月に1回開催することが求められます。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会づくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の担当職員とは相談や情報交換を実施し、利用者が入居に至るまでの連携が密に行われています。また、事故報告書や運営推進会議の議事録も提出しています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族の面会時には利用者の生活ぶりや連絡事項を伝えていきます。また、利用者の健康や安全に関わる事項については、その都度家族へ電話で報告しています。家族には毎月利用者の生活状況・身体状況・受診状況・行事等について各月の担当職員が文書を作成して送付しています。金銭管理については、定期的に家族の確認のサインを得ています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族とは面会時にできるだけ会話をし、サービス担当者会議や行事には家族の参加を求め、家族が希望や願い、不満を表せるように対応しています。近々アンケート調査も予定しています。また意見箱の設置をしています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	平成21年の始めに母体法人から赴任したホームでただ一人の男性管理者と、ベテラン職員とのチームワークにより、退職数が比較的多いにもかかわらず利用者への影響を最小限に抑えることができています。利用者の表情には素晴らしい笑顔と落ち着きがあります。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修と内部研修を、年6回以上計画的に受講し、「認知症」や「感染症」「緊急時対応」についても研修が実施されています。内部研修や伝達研修はスタッフミーティング時に開催しています。採用時研修もその都度、マニュアルを使って実施しています。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	現在は、他市の事業所と交流を図っています。市にあるもう一つのグループホームとは、管理者や職員が自主的に情報交換や交流会を近々実施する予定です。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前には職員が家庭訪問を行ったり、利用者や家族のホーム見学等を通じて馴染みの関係を作ったりする等、家族や本人の不安を取り除き、安心して入居できるように取り組んでいます。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学び支えあう関係を築いている	職員は利用者と共に過ごし、学び支えあう関係を目指した支援を行っています。野菜の皮むきや干切りの得意な方、裁縫の得意な方、歌に合わせてキーボード演奏をする方、家族と一緒に点前をする方等、利用者の得意な分野でその力を発揮してもらい、家事や行事の機会を通して、学び支えあう関係を作っています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	アセスメントを確実にし、利用者の希望や意向を把握し介護計画に反映させています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者の現在の暮らしや心身の状況を把握し、医師や看護師の意見、家族や利用者の思い・要望を反映させた介護計画を作成し、家族の同意を得ています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は6ヶ月毎に、また状態の変化がある時はその都度見直しを行っています。計画作成担当者は毎月のカンファレンスや職員の意見を聞きながら介護計画の援助項目毎にモニタリングを実施し、サービス担当者会議を開いて介護計画の見直しにつなげています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援（事業所及び法人関連事業の多機能性の活用）					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	家族の依頼により通院介助を行っています。また、ボランティアによる茶道やフラダンス等のレクリエーションの支援を受けています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援の協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られた、かかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者は協力医療機関のクリニックの医師と医療連携している訪問看護師による医療と看護を受けています。診療科目によっては入居以前のかかりつけの医療機関から、引き続き医療を受けている利用者がいます。協力医療機関と連携し、夜間や急変時の対応についての体制も整備しています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	現在、利用者と家族は入居前にホームでの看取りは実施しない方針の説明を受けています。しかし、利用者がホームでの生活をできるだけ長く続けられるよう、利用者の状況の変化とともに、利用者と家族、医師、ホームとの話し合いを行いながら対応していく予定です。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人ひとりを人生の先輩として尊重し、職員の言葉かけや態度は明るく丁寧で、やさしい雰囲気です。個人情報の取り扱いについても職員に書面で周知徹底しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の生活リズムに配慮し、利用者のペースでゆったりと暮らせるよう支えています。職員は利用者を制止したり、急かしたりする言葉はなく柔軟な対応をしています。利用者の体調やペースに合わせて、朝食の時間や入浴時間などの柔軟な対応をしています。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事は利用者の希望も取り入れて献立をたて、利用者と一緒に買い物に行き、毎食ホームで調理をしています。利用者は野菜の下ごしらえや食事準備、後片付けなどの得意な分野で分担しながら参加しています。年に2～3回の外食も楽しんでいます。前回はうなぎ屋へ行きました。職員は利用者と同じ物を食べながら、利用者の食べ方の混乱や食べこぼしに対するサポートをさりげなく行い、会話をしながら楽しく和やかな雰囲気を作っています。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者は週2回寛いだ入浴を楽しんでいます。入浴しない日は清拭をしています。季節によってゆず風呂などの行事風呂を楽しんでいます。	○	利用者が週に3回はゆっくりと寛いで入浴できるよう、体制整備と雰囲気作りが求められます。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者は一日の生活の中で家事にそれぞれの役割を見つけ、分担し合いながら張り合いのある生活を送っています。家族と一緒に朝食前をする方、唯一の男性の管理者と社交ダンスを楽しむ方、民謡を歌う方、12月の発表に向けて衣装を着けてフラダンスの練習をする方等、特技を活かした楽しみごとや気晴らしの支援を行っています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	毎日午前中、ほぼ全員で近くの神社や広場に出かけており利用者に活気があります。職員と一緒にスーパーへ食材や日用品の買物に出かけたり、理美容院にも行ったりしています。また季節の花見やミニ遠足にも出かけています。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関は内鍵方式になっていますが、現在は新入居の利用者の外出・帰宅願望に見守りだけでは対応できず施錠しています。	○	利用者や家族への心理的拘束感を軽減するためにも、日中の可能な時間帯だけでも見守りの強化等を行うなど、安全面に配慮しながら、少しでも鍵をかけないようにする工夫が求められます。
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署の指導のもとで避難訓練を実施しています。12月には自主的な災害避難訓練を実施する予定です。非常・災害時の食料品と水を備蓄しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者の食事摂取量と水分摂取量については、食事や水分の摂取量が減少し、医師の指示がある場合には、摂取量を記録に残し職員間でも把握しています。栄養バランスについては、訪問看護師のアドバイスを受けています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホームの道路に面している敷地境界には門や塀がなく、玄関付近にベンチや季節の花があり開放的で訪ねやすい雰囲気になっています。リビングに通じる廊下の壁にはサンタクロースの貼り絵の壁画や利用者の自己紹介の写真が貼られています。リビングには小さい花のある観葉植物やクリスマスツリー、装飾品、行事写真も飾られ、畳部屋とソファが寛げる居場所になっています。手狭で少し雑然感がありますが、生活感があり、転倒も少ない環境で、利用者が落ち着ける家庭的な雰囲気になっています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には利用者が持ち込んだ飾り棚、鏡台、椅子、装飾品、手作り作品、家族の写真、テレビ等があり、職員が丹精込めて作った誕生日記念の写真も飾られています。各居室に冬の散歩外出用の厚手の衣服がかけられています。居室でテレビを見たり、手帳で予定を確認したりしている利用者がいて、利用者が安心して過ごせる居室となっています。		